

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎**2月のアルミ概況及び3月の見通し (4)****予想レンジ**

LME 現物後場買い 2,500～2,700ドル ●
スクラップ 据え置き～5円 ●

(前月最終価格より)

為 替 145円～155円 円高

(1か月間TTM)

■国内概況まとめ**◆アルミ圧延・押出品生産数**

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比+5.2%の12万3,739 t。プラスに反転。

板 類	7万5,468 t	+5.4%	3か月連続プラス
押出類	4万8,297 t	+5%	6か月ぶりプラス

◆アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績

前年比	+0.2%	5万4,309 t	6か月ぶりプラス
出 荷	+1.2%	5万3,950 t	6か月連続マイナス

◆輸 入

新地金	-20.9%	269 t
二次合金	-7.58%	731 t
スクラップ	-21.5%	2万9,494 t
アルミ缶	+8.3%	5,479 t

◆輸 入

新地金	-16.5%	8万596 t
二次合金	-3.4%	9万9,934 t
スクラップ	+61.3%	780 t
合金スクラップ	-7.4%	7,649 t

■見通し**◆自動車**

1月の自動車生産が+18.2%。2月国内販売台数が前年比+15.9%。販売、生産共に増加。

トランプ関税による自動車販売の影響はあるがまだ先か？

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比+5.2%の12万3,739 t。プラスに反転で今後に期待。

■スクラップ景況予想

流通（一次問屋）在庫は、LME 価格が2,598から2,655ドル台と上昇局面だったが、円高で相殺され価格は下落。

メーカー在庫は、自動車生産の減少やトランプ関税による先行き不透明感から、積極的に買いたくはないが材料難から購入姿勢。

■LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される。

●米とトランプ大統領の関税政策

メキシコ、カナダへ25%、中国への10%追加関税が、それぞれに発動を見込まれており、さらに他国への関税も予告。混乱から今月の相場は下落傾向。

●3月のFOMC

今月開催予定のFOMCでは、通常であれば据え置きから利上げのインフレ対策モードであるが、トランプ米大統領が利下げに言及しており、据え置きから利下げを予測。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は、2,500ドル～2,700ドル（セトル）と予想。ドル円値は、145円～155円（TTM）台を予測。スクラップ購買価格に関しては、据え置きからマイナス5円程度と予想している。

(「2月のアルミ概況及び3月の見通し」おわり)

**減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬**

中川金属精錬所

代表者 **中 川 譲 治**

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原 田 商 店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128